

大島の イイもの

四季のある日本。海や山、豊かな自然のある日本。

東京の島、伊豆大島は自然溢れる豊かな島。

活火山の大地が織り成す雄大な景観や

全島いたるところに咲くやぶ椿、

そして、滋味溢れる食材や独特な文化・風習が残る

伊豆諸島最大の島。

自然によりそう島での暮らしは、

時間と手間をかけて生み出す生活。

じっくりと感じられる時間、手間、面倒を楽しむ。

自然を身近に感じ、自然と向き合い、

自然の恵みを頂き、感謝し、厳しさを知る。

わたしたちに喜怒哀楽があるように自然には四季がある。

四季の表情の豊かさが、

人生の豊かさに比例すると思えるのだ。

それが伊豆大島にはある。

三原色〔ミハライロ〕

大島イイもの展

—自然と向き合いよりそう島のくらし—

時代を経て伝えられてきたものや、土地の暮らしに利用され、根付いてきたもの、
その土地の未来を予感させるもの、、、

伊豆大島の島内でつくられたものや、島にゆかりのある作品を集め、
それらをつくり上げたつくり手のストーリーとともに展示します。
食したり、匂いをかいだり、音を聞いたり、五感で楽しんでみてください。
大島のくらしを島の人たちから伝えるトークもあります。

日時：平成28年2月6日(土) 13:00~20:00

場所：アーツ千代田3331内ラウンジ (<http://www.3331.jp>)

参加料：観覧無料 (一部有料)

<http://miharairo.to-on.info/>

大島イイもの展

— 自然と向き合い よりそう島の暮らし —

イベント内容

展示

〈展示〉大島イイもの（特産品など） 〈写真家 佐久間ナオヒトによる写真展〉島の家族 13:00～20:00 観覧無料

「大島イイもの」では、伊豆大島の特産品や、島の風景や特産品を写真や文章で伝えるパネルの展示、そして、大島の海と山の音を収めた音響作品を流すなど、五感に響く大島イイものを展示します。写真展「島の家族」では、島内に在住する30代の家族を写すことで、今の島の若者像を伝えるとともに、彼らに島の生活の中で思うことや島の未来についてインタビューしたテキストも展示します。



〔佐久間ナオヒト〕
1975年、東京都出身。2006年、ひび写真事務所を設立。人物撮影を中心に幅広く活動中。2015年、初写真集「Daydream Believer」を出版。被写体となる娘の成長にあわせ展示内容を変えた同名個展をウェブサイト、アーバンリサーチ KYOTO で開催。

創作 島料理

“つばきキッチン”による島の旬な食材を使ったお料理 17:30～20:00 要事前申込、先着20名(参加費1,200円、1drink付)

“つばきキッチン”は、食と地域をデザインで繋ぐプロジェクト。地元生産者とつながり、こだわりや思いを島の食材を使ったオリジナル料理を提供することでお伝えいたします。

お申込みは、お名前、人数、連絡先を明記の上、下記までお申し込みください。

〈お申込み〉mail@to-on.info(締切2/3まで) ※いただいた個人情報はイベントの目的以外には使用いたしません。



トーク ×2

①「あの日 10.16」 ゲスト：清水勝子（語り部） 15:00～15:30 参加無料

伊豆大島にて平成25年10月に発生した台風26号による土砂災害。当時の体験を語り継ぐホテル椿園の女将、清水勝子さん。災害を乗り越えて得られた貴重なお話をお聞かせします。



〔清水勝子〕
大島町元町出身。台風26号土砂災害にてホテル椿園を失うも、その体験を多くの人に伝えるべく語り部として活動中。

②「創作活動と島ぐらし」 ゲスト：キム・スンヨン（映像作家）×高野徹（映画監督） 18:15～19:00 参加無料

伊豆大島在住の映像作家キム・スンヨン、伊豆大島を舞台とした映画「島の女たち(仮)」監督高野徹。二人のゲストが映像を通して見た伊豆大島のぐらしの魅力や今後について、お話をお聞かせします。



〔キム・スンヨン〕
バックパッカーの経験から海外を扱ったドキュメンタリーを多く制作。主な作品に「TIBET TIBET」「雲南 COLORFREE」など。伊豆大島在住。



〔高野徹〕
1988年生まれ。商業映画やテレビドラマの助監督を経て、昨年、伊豆大島が舞台の長編映画「島の女たち(仮)」を監督。

ワーク ショップ

椿彫りあんこ人形ストラップを作ろう！ 13:00～15:00 当日随時受付、先着20名(参加費300円)

大島ではお姉さんを「あんこさん」と言います。そのあんこさんを椿彫りにしたミニあんこ人形にペイントして、自分だけのオリジナルストラップを作りましょう！



伊豆大島、どんなところ？

伊豆大島は東京から約120km南の洋上に浮かぶ伊豆諸島最大の島で、島の中央部には標高758mの三原山がそびえ、現在も火山活動を続けております。また、富士箱根伊豆国立公園に属しており、島の約97%が自然公園法によって規制されているため、自然景観と生態系が十分に保護されています。そして、全島いたるところに咲くやぶ椿はおおよそ300万本とも言われ、伊豆大島を象徴する木として愛されています。

かつては1万人を超えていた人口も減少傾向にあり、いまは約8,200人。他の離島と同様、高齢化と人口減少に歯止めがかからない状況ですが、自然豊かなくらしに魅了されて大島を訪れる人、移住する人も少しずつ増えています。

〈アクセス〉東京・竹芝桟橋から高速船にて1時間45分
調布空港から飛行機で30分 他



三原色【ミハライロ】とは？

今まで島を支えてきた人、これからの島を担う人、興味を持って島へ訪れる人。様々な人達が交流できるシカケをつくり、そこで起こる化学反応を楽しみ共有する。残していきたい『価値』と新たに生みだされる『価値』を伊豆大島という場所から発信していきます。光の三原色のようにイロを重ねあわせ、伊豆大島にたくさんの光を放ってきたい。そんな願いが『三原色【ミハライロ】』という名称に込められています。http://miharaירו.to-on.info/

会場アクセス(アーツ千代田 3331)

住所：

〒101-0021 東京都千代田区外神 6丁目 11-14

アクセス：

東京メトロ銀座線末広町駅 4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅 6番出口より徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅 A1番出口より徒歩6分
JR 御徒町駅南口より徒歩7分
JR 秋葉原駅電気街口より徒歩8分

